

中の見えないドラム缶などの残量確認に

## 200L用 ドラム缶液面計 UT823型

このドラム缶液面計は液面レベルセンサー（ステンレベラ）にエアチューブをつなぎ、先端に感知部（錘）を付けた構造です。

エアチューブを伸ばし、錘をドラム缶などの通気孔から下ろして行くと、錘が液面に着いたときから指針は振れ始め、液面からの深さに比例して振れるのでドラム缶の底に着いたところで指針の位置を見れば、大体の液面レベルが確認できます。

液面の表示は比重1（水）で表示しますので、灯油0.8・潤滑油0.9を参考にして下さい。



UT823型 ドラム缶液面計

主な仕様

電源：単3乾電池×4個 6V

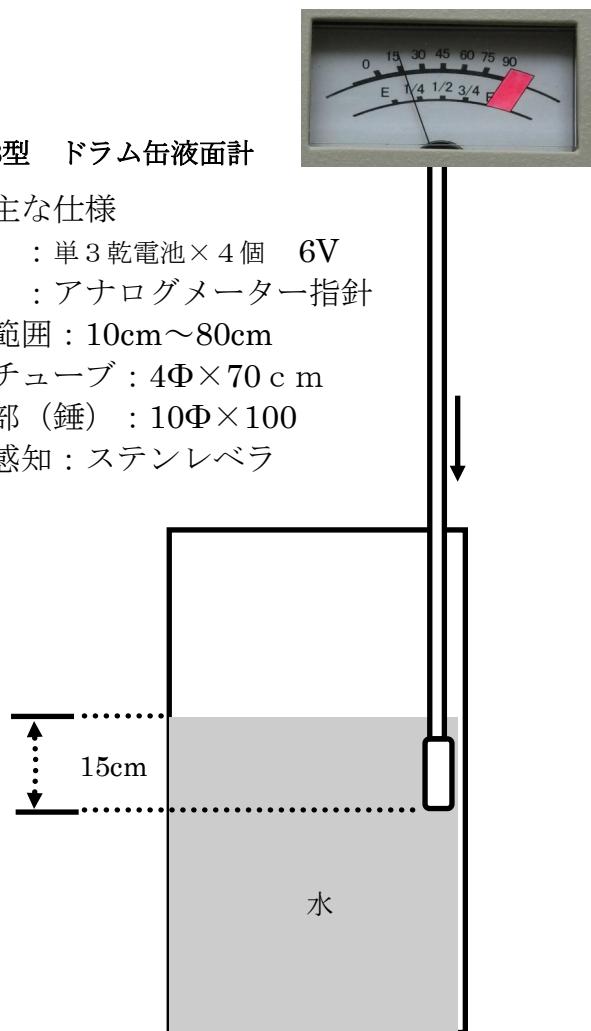
表示：アナログメーター指針

計測範囲：10cm～80cm

エアチューブ：4Φ×70cm

感知部（錘）：10Φ×100

液面感知：ステンレベラ



### ご注意

エアチューブ内の空気圧で液面を検出しますので、エアチューブは折り曲げたり、潰したり破損しないで下さい。

フジコントロールズ株式会社

〒156-0055

東京都世田谷区船橋1-41-9

TEL 03-3484-2501 FAX 03-3484-2598

Email:eigyo@fujicontrols.jp

<http://www.kt.rim.or.jp/~on01-fcc>

# 200L用 ドラム缶液面計 UT823型 取扱説明書

この度はドラム缶用液面計をお買い上げいただき誠に有難うございます。

このドラム缶液面計は中の見えないドラム缶などに貯めている液体の液面レベルを確認が出来るように考案したもので、液面レベルセンサー（ステンレバ）にエアチューブをつなぎ先端に感知部（錐）を付けた構造です。感知部（錐）を上から液体に入れるとエアチューブ内の空気は圧縮され圧力が上がります。この圧力を液面レベルセンサーが感知してアナログメーターの指針で表示します。したがって錐が底に着いたときの指針位置が液面高さです。

## ドラム缶液面計 UT823型の概要

- 1.電源：単3乾電池 4本 DC6V
- 2.液面感知：液面レベルセンサー（ステンレバ）
- 3.表示：アナログメーターの指針（目盛はcm：比重1）
- 4.計測範囲：10cm～80cm
- 5.エアチューブ：4Φ×70cm
- 6.感知部（錐）：10Φ×100mm
- 7.大きさ：90×150×60H

お使いになる前に先ず電池の確認をして下さい

電源スイッチをONにし、テストボタンを押します。

指針が一杯振れて赤位置にいけば電池容量はOKです。

指針が赤位置に行かないときは調整ネジで調整します。

## 使い方

エアチューブを伸ばし感知部（錐）をドラム缶の通気口から底に着くまで挿し込み、指針位置を読み取るだけです。位置確認後は、感知部（錐）を引き上げ収納します。

使用後は必ず電源スイッチをOFFにして下さい。（ONのままだと電池が消耗します）

注1：液体の残量が底から10cm以下だと検知出来ないことがあります。

注2：エアチューブは潰したり、破損すると測定出来なくなりますのでご注意下さい。

注3：感知部（錐）にゴミなどが詰まると測定出来なくなります。そのときはエアチューブ取付部のネジを外して掃除してから、元に戻して下さい。



## 電池の交換

電池は裏側にある電池ケースに入っています。

カバーを外すと電池が見えますので、+と-を間違えないよう交換してください。

電池は使用しなくても消耗しますので 1年に1度は交換して下さい。

出荷時は電池が入っています。



フジコントロールズ株式会社

〒156-0055 東京都世田谷区船橋1-41-9

TEL 03-3484-2501 FAX 03-3484-2598